

新宮山彦ぐるーぷ第2105回

前鬼・黒谷左岸登山道整備と導水ホース修整

◇実施日：2020年11月23日（月・祝）晴

◇参加者：山川治雄、梶野照雄

2名

10月の始、前鬼水源修理に行つた際、黒谷左岸登山道（林道ゲート横の吊り橋から小仲坊までの旧道）を歩いて状況を調べた。



倒木処理に出発

前鬼側入り口

道を塞ぐ倒木

小仲坊側には「土砂崩れのため進入禁止」の看板があったが、歩けないほどの土砂崩れは無く、登山道の殆どが昔のまま残っていた。長期間放置されているので倒木は多く、特に小仲坊から2〜3分の所で15mほどの折れた梅が完全に道を塞いでいた。おまけに覆い

かぶさるようにミツマタが繁殖して、かき分けて通過するのがやつとの状態だった。2週間後に枝打ち鎌を持って行き、ミツマタを刈って倒木の全体が見えるようにしておいた。山川さんに声をかけて倒木の処理と導水ホースのたわみ修整を行った。



処理後

倒木処理を続ける

林道ゲートに梶野車を置いて山川車で小仲坊に向かう。五鬼助さんに10月30日の釈迦像光背修理の写真を見て頂き結果報告をする。同時にネットで見つけたボルトの再脱落についてもお話をした。五鬼助さんに大谷鑄造所から送られてきた真鍮のボルトをお預かりした。

倒木処理は1時間程度で終わりそうなので先にチェーンソーを持って旧道を下った。

最初の大木の処理に25分、根元側と先端側の両側から切つて谷側に落として登山道を確保した。その後の倒木は比較的細いものばかり

りで、1時間20分で処理を終えて吊り橋に到着した。



吊り橋に到着



取水口の清掃



導水ホースの弛み修整

吊り橋の修理を村にお願いしているが、予算措置が必要になるのですぐには対応していただけないだろう。

小仲坊に戻り吊り橋迄の状況を五鬼助さんに報告、昼食を摂る。食後、2段梯子を持って導水ホースが渡っている谷へ降りる。

取水口が詰まっているようなので、ハシゴを置いて取水口の掃除に向かった。取水口を掃除すると、最初の水溜ドラム缶は満杯になった。

再び谷に戻り、ホースが付けられているワイヤーロープに梯子を架けて弛んでいるホースをワイヤーロープに固定する。5ヶ所と同じように固定してホースは概ね真つすぐになった。以前見つけた水漏れは漏水量が少なすぎて、場所の特定はできなかった。

小仲坊に戻って釈迦像光背の再修理について協議。12月に入ると気温の低下で山頂での作業が困難になるため、早期の再修理が必

要との認識で一致した。



導水ホースの弛み修整



五鬼助さんご夫妻と



小仲坊に泊って釈迦ヶ岳まで行った東京のご夫婦が下山していたので釈迦像光背の様子を聞いてみると「風でゆらゆら揺れていました」ということだったので、ボルトの脱落は確実なものとなった。山川さんは先に帰宅、私は東京のご夫婦の食事が終わるのを待つ、お二人を吉野神宮駅まで送り届けた。

ネットでもボルトが抜け落ちているのを見つけた時点で植平さんにも連絡を入れたので、吉野まで戻って今日の釈迦像光背の状態を連絡した。

(記：梶野)

行動タイム

小仲坊 09:18 → 10:43 吊り橋 ↓ 11:00 小仲坊 ↓ 12:00 取水口 ↓
12:30 ホース弛み箇所 ↓ 13:30 小仲坊